

1 太平洋戦争民間犠牲者慰霊碑「人間之碑」



基本情報

所在地：みなと大通り公園
 住所：鹿児島県鹿児島市名山町
 （JR鹿児島中央駅より 鹿児島市電「市役所前」電停 徒歩4分）
 建立者：鹿児島市、南日本新聞社
 建立年：昭和49年6月17日
 連絡先：鹿児島市 地域福祉課 099-216-1244（直通）

碑文

【表】

太平洋戦争
 民間犠牲者慰霊碑

戦災により
 非命にたおれた
 はらからの
 痛恨をおもい
 あすのために
 この碑を建つ

昭和四十九年六月十七日
 鹿児島市市長 末吉利雄
 南日本新聞社 社長 川越政則

【裏】

この碑は 鹿児島市と南日本新聞社が
 戦災三十周年を記念して鹿児島県内外の
 同県関係篤志団体七十八 篤志家二百五
 十四人の協力を得て建立したものである

彫像制作者 新制作教会会員 児島幸雄
 台石寄贈者 鹿児島県石材工業協同組
 理事長 米盛弘修

2 太平洋戦争民間犠牲者慰霊碑「人間之碑」への献花



開催概要 (平成25年度)

歳事名：太平洋戦争民間犠牲者慰霊碑「人間之碑」への献花
 会場：みなと大通り公園内 太平洋戦争民間犠牲者慰霊碑 人間之碑前
 住所：鹿児島県鹿児島市名山町
 (JR鹿児島中央駅より 鹿児島市電「市役所前」電停 徒歩4分)
 日時：平成25年6月17日(月) ※例年6月17日開催
 参列者数：約90人
 連絡先：鹿児島市 地域福祉課 099-216-1244 (直通)

式次第 (平成25年度)

1. 開 会
2. 黙 と う
3. 献 花…鹿児島市 総務部長、鹿児島市 福祉部長
一般参列者
4. 閉 会

概 要

太平洋戦争民間犠牲者慰霊碑「人間之碑」への献花について

太平洋戦争において、本市では、昭和20年3月18日から8月6日まで合計8回にわたって空襲を受けており、中でも6月17日は死者2,316人を数える最も多くの犠牲者を出している。

そのため、最も大きな被害を受けたこの日に犠牲者の慰霊を申し上げるとともに、戦争の悲惨さと平和の尊さを再認識していただく意味で、献花を行っているところである。

出典：鹿児島市より

3 鹿児島市立女子興業学校の碑



基本情報

所 在： 共研公園
 住 所： 鹿児島県鹿児島市中央町14
 (JR鹿児島中央駅 徒歩6分)
 建 立 者： 鹿児島女子高等学校同窓会 帰厚会
 建 立 年： 平成16年6月17日
 連 絡 先： 鹿児島女子高等学校同窓会 帰厚会 099-224-4826

碑 文

【慰霊碑右・表】

雪に耐えて
 梅花麗し

鹿児島市長書

鹿児島市立女子興業学校跡地
 現 鹿児島女子高等学校
 明治四十四年鹿児島市易居町から上之園町に移転
 昭和二十年六月十七日の鹿児島大空襲により焼失
 三十五年間の学び舎としての幕を閉じる

【慰霊碑左・表】

太平洋戦争の犠牲になられし
 学友の悲痛な叫び
 後の世まで忘るまじ

ああ あれから五十有余年
 御霊よ 安らかなれと祈る

平成十六年六月十七日
 創立百十周年記念事業
 鹿児島女子高等学校同窓会帰厚会建立

【モニュメント・表】

鹿児島市立女子興業学校の跡

4 鹿児島市立女子興業学校 慰霊祭



開催概要 (平成25年度)

歳事名：鹿児島市立女子興業学校 慰霊祭
 会場：共研公園内 鹿児島市立女子興業学校の碑前
 住所：鹿児島県鹿児島市中央町14
 (JR鹿児島中央駅 徒歩6分)
 日時：平成25年6月17日(月) ※例年6月17日開催
 参列者数：約20人
 連絡先：鹿児島女子高等学校同窓会 帰厚会 099-224-4826

式次第 (平成25年度)

1. 開 式
2. 黙 と う
3. 宮司によるお祓い
4. 玉 串 奉 納
5. 会 長 の 挨拶… 鬼丸正子会長
6. 空襲の体験談… 別府典子

体験談 (平成25年度)

空襲の体験談 別府典子

昭和20年、私は当時18歳、鹿児島女子興業学校の専攻科の生徒として学校の寮に入っていました。3月、4月、5月と空襲はだんだんと激しくなり、私たちが防空壕に入る機会は多くなりました。

忘れもしません、6月17日、夜中の11時頃。異様な音と雰囲気の中、私は目を覚ましました。空襲でした！すぐに飛び起きた私は寮の部屋から出ると裸足のまま学校の中庭に降りました。学校の門から外を眺めると既に下町の家々には火の手が上がっていました。

当直の先生からの指示で私は校庭のある防空壕に入りました。中は真っ暗でした。私に続き、鶴田さんという子が入ってきました。2人で身をかがめていると防空壕の入口の隙間から火の粉が入り込んできました。私たちは必死でそれを払いのけましたが、燃え上がる炎は容赦なく襲ってきました。時が過ぎるのも忘れ、火の粉を払い続けました・・・

気がつくと夜が明けていました。私は鶴田さんの姿を見て驚きました。彼女は変わり果てた姿になっていたのです。お下げ髪はすっかり焼け焦げ、目の玉は真っ赤になり開きません。足は火傷で膨れ上がり、真っ黒になっていました。そして、両腕の皮が肘の方から裂けて手元にぶらさがっており、肉が見えていました。私はハッと息を飲み、言葉も出ませんでした。そんな鶴田さんから「水がほしい、水がほしい・・・」と求められ、必死に水を探しましたが、学校の水槽は無情にも空でした。私は彼女のもとに戻り、「ごめんね、水はなかった」と言うのがやっとでした。鶴田さんはそれから間もなくして亡くなりました。

(中略)

私はこの碑を作るために東奔西走し、帰厚会として平成16年によく建立が実現しました。戦争が終わり70年近く経ちますが、こうして慰霊碑の前に立つとあの時の鶴田さんの姿をまざまざと思い出します。戦争は絶対に繰り返してはいけません。若い乙女の命を奪った戦争のむごさや怖さを、私は後輩や子どもたちに伝えていく責任があります。

※当日の原稿がないため、本人のお話をもとに再構成

5 広馬場通り戦災鎮魂慰霊の碑



基本情報

所 在：堀江町 山形屋パーキング前
住 所：鹿児島県鹿児島市堀江町1-1
(JR鹿児島中央駅より 鹿児島市電「いづろ通」電停 徒歩2分)
建 立 者：広馬場通り戦災鎮魂慰霊の会
建 立 年：平成16年6月18日
連 絡 先：株式会社まからず屋 099-224-2244

碑 文

【表】

広馬場通り
戦災鎮魂慰霊の碑

碑 文

昭和二十年六月十七日、太平洋戦争の終戦を間近に控え、鹿児島市は大空襲により甚大な被害を受けました。市街地中心部の堀江町広馬場通りの三ヶ所の防空壕において、戦災死した春成直助一家七人をはじめ、多くの戦争犠牲者の無念の霊魂は、浮かべられることなく、歳を経るごとに、風化されようとしています。沈吟、空しうして慟哭悲嘆、寂々哀愁憐れむべし。我ら志あるものが、慰霊の誠を捧げ命の尊さを訴え、永遠の平和を願う尊い一灯を点じたく、ここに鎮魂の碑を建立します。

平成十六年六月十八日
広馬場通り戦災鎮魂慰霊の会
代表 春成幸男
(社団法人三州倶楽部会長)
春成幸男 書

【裏】

鎮 魂
春成幸男 書

6 広馬場通り戦災鎮魂慰霊祭



開催概要 (平成25年度)

歳事名：広馬場通り戦災鎮魂慰霊祭
 会場：山形屋パーキング前 広馬場通り戦災鎮魂慰霊の碑前
 住所：鹿児島県鹿児島市堀江町1-1
 (JR鹿児島中央駅より 鹿児島市電「いづろ通」電停 徒歩2分)
 日時：平成25年6月18日(火) ※例年6月18日開催
 参列者数：38人
 連絡先：株式会社まからず屋 099-224-2244

式次第 (平成25年度)

1. 鹿児島市長 メッセージ
2. 代表者挨拶
3. 代表者献花
4. 「堀江町と慰霊碑」 堀江町町内会長

メッセージ (平成25年度)

広馬場通りの戦災鎮魂慰霊祭が、関係の皆様方多数お集りのもと、厳かに執り行われるにあたり、謹んで御霊のご冥福を心からお祈り申し上げます。

この慰霊碑は先の大戦の大空襲により、堀江町広馬場通りで犠牲となられた、二百余名の御霊を慰霊するために建立されたものであるとお聞きしております。

その先人の遺徳を偲び、生命の尊さを訴え、戦争の悲惨さと平和の大切さを後世に語り継ぐことは、誠に意義深いことであると思います。

私どもは、いま一度、悲惨な戦争の教訓を心に刻み、不戦の誓いを新たに、世界の恒久平和と、より明るく豊かな郷土を築き上げるため、一層の努力を傾倒いたす所存でございます。

終わりに慰霊祭の開催にご尽力いただいております皆様、深く敬意を表しますとともに、お集まりの皆様方のますますのご健勝とご多幸を心からお祈りいたします。

平成25年6月18日

鹿児島市長 森 博幸

7 慰霊碑



基本情報

所在地： JR鹿児島駅 旧5番ホーム ※JR鹿児島駅構内につき入場券が必要
住所： 鹿児島県鹿児島市浜町2-35 (JR鹿児島駅 駅構内)
建立者： 遺族一同、当時の鹿児島駅関係者一同、鹿児島駅職員一同
建立年： 昭和52年12月25日
連絡先： 九州旅客鉄道株式会社 鹿児島支社 広報 099-256-0165

碑文

【表】

慰霊碑

第二次世界大戦の末期 昭和二十年六月二十七日十二時四十五分 敵機の
大空襲によって鹿児島駅は壊滅した
このとき職場を護り尊い犠牲となられた十二名の霊を慰めるため 三十三回忌にあたって関係者一同相計り被爆の地にこれを建立する

殉職者

(故人名)

昭和五十二年十二月二十五日

殉職者遺族一同

被爆当時の鹿児島駅関係者一同

鹿児島駅職員一同

8 慰霊塔



※写真提供 西之表市

基本情報

所 在：西之表市（種子島）わかさ公園
 住 所：鹿児島県西之表市西之表14415
 （西之表港 徒歩20分）
 建 立 者：西之表町長 西村健夫（西之表市長 榎本修 再建）
 建 立 年：昭和30年11月1日（平成3年11月2日 再建）
 連 絡 先：西之表市 0997-22-1111（代表）

※一般戦災死没者を含む

碑 文

【表】

慰霊塔

経 緯

種子島は、1945（昭和20）年3月18日に艦載機（グラマン）延べ12機が西之表地区を銃爆撃（死亡3、負傷9、行方不明13、住家全焼62棟、非住家全焼13棟）し、以後10回を超える空襲で西之表の市街地の大部分が被災し、浦田、安納、伊関、現和、住吉などの島内の集落が銃爆撃された。

4月、全島の国民学校児童は、2年から6年生全員、海を渡って九州本土の鹿児島、熊本県境の伊佐・大口方面に疎開を開始した。この間に疎開の船待ち中の野間国民学校の児童3人がB24の爆撃で負傷した。

出典：西之表市編纂委員会著「西之表市百年史」より

9 西之表市戦没者追悼式



※写真提供 西之表市

開催概要 (平成25年度)

歳事名：西之表市戦没者追悼式 ※一般戦災死死者を含む
 会場：わかさ公園内 慰霊塔前
 住所：鹿児島県西之表市西之表14415
 (西之表港 徒歩20分)
 日時：平成25年11月2日(土) ※例年11月上旬開催
 参列者数：250人
 連絡先：西之表市 福祉事務所 援護係 0997-22-1111 (代表)

式次第 (平成25年度)

1. 開式のことば
2. 拝礼
3. 国歌斉唱
4. 黙とう
5. 式辞…西之表市長 長野 力
6. 追悼のことば…市議会議長 永田 章、市遺族会会長 永田義彦
7. 献詠…種子島詩吟同好会 上妻陽二郎
8. 献花
9. 式電披露
10. 謝辞…市遺族会会長 永田義彦
11. 拝礼
12. 閉式のことば

式辞 (平成25年度)

本日ここに、ご遺族並びに来賓各位の御臨席のもと、西之表市主催による平成二十五年度戦没者追悼式が挙行されるにあたり、戦没者各位の御霊に謹んで追悼のことばを申し上げます。

今年の夏は、かの大戦が終了した昭和二十年の夏を彷彿させるような暑い毎日でありましたが、ようやく朝に夕に涼やかな秋の冷気が立ち込め、ふるさと西之表を思い、ご家族を案じながら御盾となって散華された英霊各位は、緑に囲まれたわかさ公園において、無限の空間に魂を休めておられることと思います。

各位が英霊となられて早くも六十八年が過ぎましたが、その気高い精神は、ご遺族そして私たちの心の中に思い出とともにあり、決して風化するものではございません。

西之表市民を代表し、心から感謝の誠を捧げ、ご冥福をお祈り申し上げます。

また、愛する夫や息子、父を突然失った悲しみに堪えながら、戦後の混沌とした厳しい社会の中で助け合い、励まし合って、その日一日を精一杯生きてこられたご遺族の皆様には、語り尽せないほどの苦難があったこととご拝察申し上げます。御霊が命を投げ打って守られ、あとを託されたご遺族が全身全霊をかけて支えてこられた祖国日本、そしてふるさと種子島・西之表市は、世界に類を見ない平和憲法の下、めざましい発展を遂げました。

平和で豊かになり、戦争が遠い過去の出来事として風化しつつある今日、私たちが戦争の悲惨さと困窮の苦しさを若い世代に語り継ぐことが、御霊に報いる途であろうと肝に銘じております。

社会情勢の変遷に伴い、新たな課題が山積している状況ではありますが、市政を預かる私は、現在の日本の礎を築いてこられた御霊に恥じぬよう、市民福祉の更なる向上を目指して、第五次長期振興計画に謳った『絆で創る、魅力あふれる豊かなまち』という本市の将来像を実現するため、様々な分野において市民・職員と一丸となって日々邁進しております。

本日の式典において、先の大戦から学んだ教訓を胸に刻み、平和社会の確立と物心ともに豊かに暮らせる力強い西之表市の実現に向けて、持てる力を尽くしてまいることとお誓いいたします。

終わりに、戦没者各位がとこしえに安らかならんこととお祈りし、ご遺族並びに市民の皆様のご平安を祈念いたしまして式辞といたします。

平成二十五年十一月二日
 西之表市長 長野 力